

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(有玉小)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 協議会で意見を出し合い、学校の教育活動の充実のための具体的な方向性を見出していきたい。
- 委員が子供たちと直接議論し、子供たちの生の声を聴ける場を設けていきたい。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

校長から学校運営の基本方針の説明を聞いて、分からない用語や疑問を感じたことを質問し、理解を共有したうえで、各委員間及び学校側との活発な意見交換ができた。
授業参観を通じて子どもたちから直接に話しを聞くことで、熟議を深めることができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

「ありがとうカード」などの実践例の紹介、子どもたちのグループ討議「有玉地区をかんがえよう」の参観などを通じて、学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して協議することができた。
学校サポーター登録の流れの確立、あいさつ運動の参加などで充実した学校支援活動ができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

学校HPへの会議録の掲載、保護者配付資料「有玉小地域だより」及びコミュニティスクール通信「一緒につくろう!CS!」での活動の紹介、また関係資料の自治会組織を通じた回覧などで協議会の活動の周知に努めたことにより、保護者・地域への理解が進んだ。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

子どもたちとの交流・話し合いの場を持つとともに、教育現場の先生方との意見交換を通じて熟議を深める。
学校支援活動における学校・地域・家庭の役割分担を明確にして連携強化に努める。